



高齢者の意欲の低下に対する鍼灸治療

灸灸学部 保健・老年鍼灸学講座

江川雅人、福田晋平、太田喜穂子

高齢者の意欲の低下について

高齢者にとって意欲の低下は、日常生活への関心が無くなり、何もしなくなることによって認知機能を低下させたり、積極的なリハビリへの参加を阻害し、回復を遅らせるなど様々な影響を及ぼします。

多くの高齢者が程度の大小に拘わらず意欲の低下を抱えていると考えられ、高齢者福祉施設に入居している高齢者の84%に意欲の低下がみられるという報告もあります。

ここでは意欲の低下の原因と、意欲の低下がみられる高齢者の患者さんに実際に鍼治療を行った結果を示したいと思います。

意欲の低下の原因

意欲の低下の原因には、大きく分けて以下の4つのものが挙げられます。

1. 脳の局所性障害
2. 認知症
3. 精神疾患
4. 寝たきり

1つ目の「脳の局所性障害」とは外傷や脳卒中などによって脳のとある部位に損傷をきたした状態をいいます。特に前頭葉と呼ばれる部位に損傷をきたすと意欲の低下が起こりやすいと報告されています。

2つ目の「認知症」は意欲の低下を呈する頻度が高い疾患です。アルツハイマー病や前頭葉型認知症といわれるものでよくみられます。

3つ目の「精神疾患」では特にうつ状態で意欲の低下がみられます。うつと意欲の低下は混同されることが多いのですが、同じものではなく、意欲の低下はうつの一症状として観察されます。

4つ目の「寝たきり」では同じ景色しか見ることが無くなり、新しい刺激が少なくなって意欲の低下が起こります。

高齢者の意欲の低下に対する鍼灸治療

	初診時	1ヶ月4日後 治療10回目	2ヶ月11日後 治療27回目	4ヶ月26日後 治療40回目
起床	2.3	0.7	0.7	3.0
意志疎通	3.0	4.7	4.3	4.7
食事	3.0	4.3	4.0	4.0
排泄	3.0	3.0	3.0	3.0
リハビリ・活動	2.7	3.0	3.3	3.0
総合点数	14.6	15.3	15.0	17.7

意欲の評価表の点数の変化

患者さんは81歳の女性。17年前に脳梗塞を発症し、その後特別養護老人ホームに入居しました。入居してからは運動などはしていましたが、次第に意欲の低下が認められました。

週に2回の鍼灸治療と手浴、ボール運動、唱歌を40回行ったところ、表情の改善や発語数の増加とともに、評価表の点数が増加し、意欲の低下の改善が示されました。